

那珂川の渡し賃は
一人五円 自転車だと十円でした

海野保さん（七十代）

子どもの頃、若い頃のお話

↳ 渡船場

うちのおやじは渡船場をやったんですよ、舟渡し。商売でやってたんではなくて、江戸時代から青年会が水戸藩と契約をして、舟渡しをやるよっていう約束があったって言われてるんですよ。代々、そこで舟渡しをやる人がこの町会から交代で、誰かができなくなったら、じゃあ誰がやってくれとかっていう感じで。最後の舟渡しが私の親父だったんですよ。

↳ 闇市

私が覚えているのは、本当の子どもの頃ですね。五、六歳の頃かな。当時、終戦直後だから、茨鉄線から闇屋が来たんですよ。闇行商というか、買い付けに。

水戸駅まで来ると、取り締まりが厳しいんだと思うんです、当時。なので、赤塚で降りて、上水戸行き経由で、ここに藤井駅っていう茨鉄線の駅があったんで、そこから渡し船で渡って、那珂町はまだ向こう側バスも通ってなかったですからおそらく歩いていったんだと思うんですけど、農家に行くと、米とかを買い付けて食料品を買い付けて、東京に戻っていったんだと思うんですけど。東京から来て、赤塚駅からこっち回ってきて、藤井駅まで来てそっから水戸から上野間だって二時間半から三時

間ぐらいかかったんでしょかね。常磐線も蒸気機関車ですから、一日がかりなのか泊りがかりなのか知ってる人を頼ってきたんだと思うんですけど。大きなリュックサック背負って。

昭和二十年直後ぐらいでしょうね。私、十九年生まれだからかすかに覚えてるんですよ。二十三、四年ぐらいかな。男の人が多いね。常磐線の中で、検問みたいのがあるっていうと捕まっちゃうから、窓から場所決めて捨てたなんていう話もありました。あとから拾いに来たのかもしれないですけど。その頃はその通行客も橋も国田橋なんかないですから。上流は下江戸の橋ですから、下流は茨大の下の方の橋しかないですから、ここを通ったんですよ。

↳ 家族

家族はね、最高九人ぐらいいた。親父の妹が終戦前から疎開してきていて。子どもが三人だから、お母さんと四人だ。上の子は私より四つ上で、飯富の小学校に通ってたんですけど。

家はね、かやぶき屋根で結構大きい家だったんですよこの前の家は。お勝手が右側にあって台所は土間で。かやぶき屋根の家は三十八年前。昭和五十八年くらいまでありましたね。

↳ アユ釣り

那珂川って、私の記憶が間違いでなければ日本一アユが漁獲できる川なんだそうですよ。ここ、落ちアユで秋口に取れるんですけど、夏場上流へ上っていて、それで水が冷たくなると、ちょうどここら辺の川が産卵する場所に適していたんですよ。

ここで産卵したアユは、孵化したら、川の流れに沿って下流まで行って喫水線で冬を過ごして、また春先上って、その繰り返しなんですね。だから秋、台風が来て、九月の半ば台風が来て水が増すと、それにつられて、水も冷えるんだと思うんで降りてきてここら辺に。それを「転がし」っていうんですけど、漁法がね。その頃竹竿です。竹竿に道糸をつけて、おもりを付けてその下に何本か針をつけて、投げたヤブーンってやったら、からからからってやると、引かかってくるんですよ。針十本ぐらいつけて四匹くらいひっかかってくる時もあったんですよ。今は百回やっても一匹釣れるか釣れないか。

当時の川と今の川の違い

急流だったのが、なだらかになりましたね。中州みたいに砂利の丘があったんですけど、砂利を取って運び出したんで、水位は三メートル以上下がったと思います。その分流れは緩くなりました。瀬が少なくなりました。私が生まれた頃この堤防なかったから。その頃は結構川の水が溢れて入って、台風が来るっていうとみんなびくびくしてました。それから堤防の中にも畑作ってましたけど作物なんか、収穫期になると流されちゃったりしたのも何回もありますね。

ここはごぼうとか山芋の産地なんで、換金野菜はそれなんです。関西の方では飯富地区岩根ごぼうっていうのは有名だったんです。だから秋になるとこの家もごぼう掘って出荷してたんです。それこそ藤井

駅から、仲買業者が農家から買い上げて馬車で積んで送ってたりして。

地域のお祭り

神社の祭りとしては祭礼みたいな行事ですね。春祭りとか。私もこないだまで神社の会長やってたんで、六回ぐらいあるんですけど、春祭りと、ここの辺農家だから嵐除けの祈願とか、夏祭りとか、秋の収穫祭とか。

そのときの中心は山王神社ですね、そこに常会があるんですけど。その代表が氏子の代表ということで。区の中から会長が選ばれて、藤内神社って藤井にあるんですけど、その宮司さんを頼んできて、お祓いしてもらったり。最近では、(水戸)八幡さんの宮司さんを頼んでお祓いしてもらったりして。

お神輿も神社に合わせて、夏祭りのときは町内全部二日にかけてお神輿担いで回ったんですよ、青年会がね。今は私の前の二つ上ぐらいまではお神輿担いで回ってたんですけど私は担いだことあるけど回ったことはないですね。青年会に入れなんて言われて、入った人がやるんですけど。その後祭りでお神輿を出すのは、担ぐ人が少ないんで、子ども神輿なんか行事だけしばらくやってましたけど、その後はもう子どももいなくなっちゃったんでそれもやめました。使わないで拝殿に置いただけで夏祭りのときはお祓いだけしてもらって。ちよっと寂しいですね。

ケヤキの木

三年前に、この(山王神社の)ケヤキが腐ってきちゃったので、これ台風でも来て倒れたら大変だということで、業者に受け渡してその時にお祓いをしてもらって切ったんですよ。これ切った様子ですけど、クレーン車でつかいのが来て、切ってもらって中が空っぽだったんです。これこんなに穴空いちちゃってたんです。切り倒してから胸をなでおろした感じですよ。外から見えないからこれ台風で倒れたら民家に倒れたり、拝殿だのお宮に引っかけたら大変だって言ってたなあ。これは貴重だったんですよ。

今は切った、木の根っこだけがありませんよ。一本は根からほって、私が記念で桜の木を植えてあげました。



山王神社の切り株に植えられた桜



那珂川